

## 専修大学経済学部泉ゼミナールの根室フットパスでの活動史

2019年9月27日

2003年から設置が始まった根室フットパスは、根室市の酪農家集団 AB-MOBIT が、行政の手をほとんど借りず、地元産業界の支援を受けながら、主に自らの所有する牧場の中に歩く道を整備することで形成されていった。まず厚床パス、初田牛パス、別当賀パスの3コース（計42.5km）が整備された。

専修大学泉ゼミは、2010年から AB-MOBIT と協同で根室フットパスの整備活動を行ってきた。約3年を1セットとし、2010年から2012年の第一期は別当賀パスの整備、2014年から2016年の第二期は新コースの明郷パスの開拓、2017年から2021年の第三期は新コースの三里浜パス（仮称）の開拓を行っている。なお、2013年は教員の事情により、2018年は合宿直前に起きた北海道胆振東部地震により、活動を休止している。

### (1)第一期（2010～2012年）

第一期は、既存のコースである別当賀パスの整備に尽力した。2010年は、泉ゼミとして根室フットパスで初めて活動を行った年であり、学生はフットパスを歩いた経験がほぼないことから、夢原館から出発して別当賀パスを歩くところから始まった。約5km歩くと、別当賀パスの終点近くに位置し、別当賀パスのランドマークである旧馬場牧場のサイロ跡に到着した。サイロ周辺の草刈りを行い、朽ち果てた牧柵やコンクリート塊等を取り除いた。その後、ウォーカーが誤ってサイロ内部に落ちることがないように、サイロの周りを柵で囲うなどの整備を行った。また、牧草ロール（ロールベール）を壁代わりにして、野外トイレの設置も行った。



整備前の旧馬場牧場のサイロ跡（10年9月6日）



泉ゼミの学生による草刈り（10年9月6日）



野外に設置した簡易トイレ（10年9月6日）



合宿内容をまとめた模造紙（10年9月17日）

2011年は、前年度に続き、別当賀パスの整備を行うことになった。ただ初日は、学生がまだ行っていなかった厚床パスの一部、JR厚床駅から伊藤牧場までの約5kmの道のりを歩いた。そして、二日目から、別当賀パスでの整備が再開した。2011年は、3つの班に分かれ、複数箇所でキッシングゲートの設置作業を行った。まず、不必要なバラ線を切り、古い牧柵を引き抜き、草刈りを行う。その後、AB-MOBITが作成した図面に従って、新たに牧柵を打ち込み、板を打ち付けたりしてゲートを完成させた。また、一部の場所では、道標の設置も行った。



厚床パスの道標 (11年8月30日)



牧柵を打ち込む場所の確認 (11年8月31日)



牧柵を打ち込む (11年8月31日)



牧柵に板を打ち付ける (11年9月1日)



完成したキッシングゲート (11年9月1日)



新しく設置された道標 (11年9月1日)

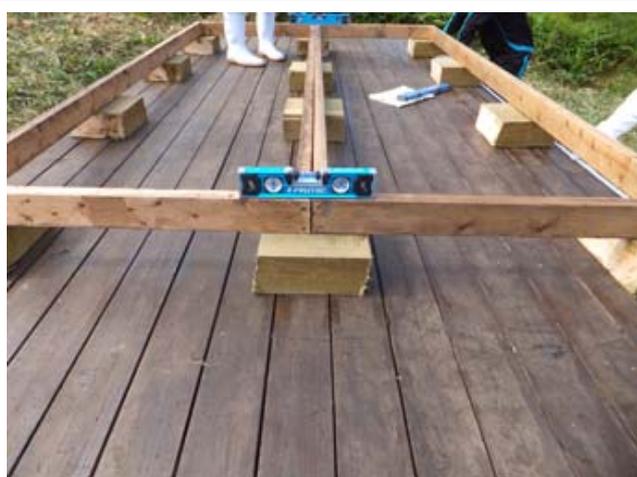
第一期の最後の年となる 2012 年は、別当賀パスの終点近くの沼のほとりに野鳥観察小屋を建てることを行った。まず、小屋の土台とする木村拓哉主演のドラマ「南極物語」で使用されたソリや、小屋の壁等に使用する板について、防虫・防腐効果のあるニス塗りをした。そして、それらをトレーラーに積み込み、現地まで移動した。現地では、最初に建設予定地の地面をならし、水準器で計りながら正確に平らな土地にした。その後、土台としてソリを置き、その上に観察小屋となるログハウスを組み立てていった。戸口と地面に段差があるため、流木を加工してステップも作成し、また同じく流木を加工して小屋の看板も作成した。



壁板などのニス塗り（12年9月5日）



建設予定地で草刈り（12年9月6日）



水平を確認しながらの作業（12年9月6日）



床が完成し壁材の設置（12年9月6日）



屋根の設置（12年9月7日）



野鳥観察小屋の完成（12年9月7日）

## (2)第二期 (2014~2016年)

第二期の初年となる2014年は、根室フットパスに来るウォーカーを増やすためのツール開発の検討を行った。マップ売り上げの推計から、根室フットパスには、年間2000人ほどが歩きに来ているが、潜在的な利用者はもっといると考えられ、①フットパスを歩きながら食べられる軽食の開発（鮭を利用した食品）、②スタンプパスポートの作成、③写真共有SNS（インスタグラム）等を利用した情報発信の可能性について、現地で行った。また、2015年1月24日、インカレねむろ・大学等研究プロジェクト2014研究発表会（別海町マルチメディア館）において、これらの成果報告を行った。



秋鮭の水揚げ（14年9月11日）



別当賀夢原館での検討会（14年9月11日）



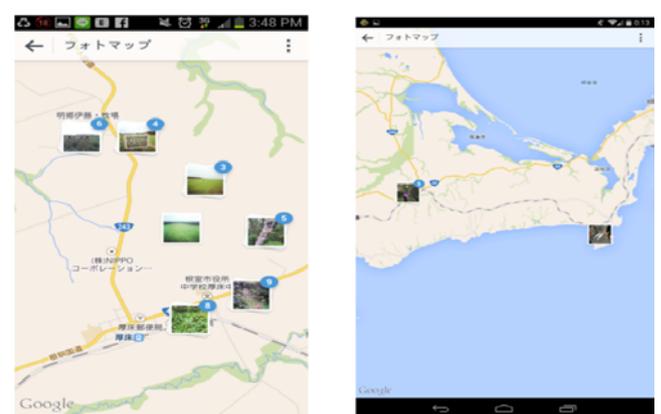
パスを歩きながら SNS で発信（14年9月11日）



根室の新たな土産物として、根室特産の焼鮭ほぐしをバターしょうゆで味付け、フレークの製造過程で抜けるアンセリンを再度入れ直し、鮭本来の栄養価をアピールしたスナック（14年提案）



厚床パスの全体図とスタンプボックスの設置予定場所の案（14年提案）



位置情報も含めた写真を用いて、インスタグラムでの情報発信（14年提案）

第二期の2年目となる2015年は、前年より検討されていた新コースの整備を開始した。厚床パスと、別海町の旧標津線跡フットパス(管理:別海町グリーンツーリズムネットワーク)の接続を意識したコースである。伊藤牧場を始点とし、旧標津線の跡をたどり、風蓮川の鉄橋を渡ったところが終点となるものである。線路は撤去されているが、築堤や敷かれていた砂利はほぼ残っていたことから、廃止されてから30年近く経っていても遷移はそれほど進まず、低木が少しあるだけで、ほとんどが雑草であった。そのため、約4kmの路盤跡を両側から、ひたすら草を刈る作業を中心に行った。



草刈りを始める前 (15年9月3日)



草刈り後、路盤跡がよくわかる (15年9月3日)



作業用通路を邪魔する枝を剪定 (15年9月3日)



ひたすら草刈りを行う (15年9月3日)



鉄橋は線路が撤去されている (15年9月3日)



エゾシカとの出会い (15年9月3日)

第二期の3年目となる2016年は、前年から整備を始めた新コースの開通記念イベントを行った。新コースの名称は明郷パス、全長4.3km(約90分)である。周回コースではないため、風蓮川鉄橋を渡ったところで、東に向かって林を抜けて国道243号線に出て、路線バスに乗り伊藤牧場もしくは厚床駅に戻ることになる。イベント開始前に、草刈りを行い、簡易のものであるが道標を設置した。鉄橋の架設設置のような専門的な作業は、事前に中標津町の北央舗道(株)と小針土建(株)が社会貢献活動として行っている。イベントには根室市内の住民を中心に約20名の参加があり、総勢50名強で執りおこなわれた



イベント時に配布した明郷パスの地図(16年)



午前には駅始点に厚床パスを歩いた(16年9月10日)



昼食は伊藤牧場内で、レストラン ATTOKO 提供の牛丼を美味しく食べた(16年9月10日)



イベント用の簡易の道標。翌年、鉄柵を打ち込み本格的な道標に変更した。(16年9月10日)



前日の雨で浸水した風蓮湿原(16年9月10日)



厚床駅行きの路線バスを待つ(16年9月10日)

## (2)第三期 (2017~2021 年予定)

第三期は、次の新コース、別当賀パスと落石シーサイドウェイ（管理：落石地区マリンビジョン協議会）を接続するルートの開拓となる。明郷パスと異なり、見渡す限りの原野であるため、初年である 2017 年は、2 万 5 千分の 1 の地図を片手に、GPS 端末で位置を確認しながら、3 班に分かれ、ルートの探索を行った。別当賀と落石の間の海岸沿いのエリアは三里浜と呼ばれ、明治から大正時代にかけて国道 43 号が通っていた。探索をしながら戦時中に構築されたトーチカ跡などのコースに組み込むべき場所や、植生の確認も行った。



別当賀パスの終点付近。天狗岩が遠くに見える（17年9月7日）



採草地や原野が広がっている。目印が少ないため、霧が出ると方向がわからなくなる（17年9月7日）



落石に設置されたトーチカの一つ。ここは土砂に埋まっている（17年9月7日）



落石に設置されたトーチカの一つ。ここは完全に滑落している（17年9月7日）



思った以上に起伏が激しい。崖の高さは、高いところで 44m ほどある（17年9月8日）



漂着ゴミが多い。回収しても、1年後には元に戻ってしまうのか？（17年9月8日）

第三期の2年目となる2019年は、2017年の探索記録と、合宿前に行われたAB-MOBITの探索を照らし合わせ、仮のルートを設定し、そこを歩きつつ、見所や危険ヶ所、道標を建てる場所などの確認を行った。GPS端末を用いて、ルートの正確な位置情報を把握することも行った。また、海岸線に降りる場所や、一部の危険ヶ所については草刈りも行い、トーチカについては周辺を掘り起こすなどの作業も行った。ただ、雨に降られるなど、作業が予定通りは進まず、開通記念イベントは2020年ではなく2021年に行うこととした。



新コースの予定ルートの一部。別当賀パスの終点から三里浜を歩き、落石の漁協事務所前までの予定。約7.5km、歩行時間は2時間半である。(19年)



一部、旧国道の痕跡らしきものが残っている(19年9月14日)



自然保護団体や不在地主の私有地を一部通ることになる。バラ線部分の改修が必要(19年9月14日)



アップダウンがあるコース(19年9月14日)



林道の終点、JR花咲線と重なるポイントが休憩場所となった。始点から4.8km(19年9月14日)



落石海岸に降り、落石漁港に向かう。休憩場所からは約2.7km先にある(19年9月14日)